



2018年度 エプソン情報科学専門学校 実行計画 / 最終実績自己評価

学校長
印鑑省略

学校評価項目	<p>【学校創立の原点】 設立趣意書より抜粋 エプソン情報科学専門学校が全人的教育により、高度情報化社会をリードする中堅技術者の育成に傾注できるように努力していく覚悟である。</p> <p>設置趣意書より抜粋 また、単に、技術的に優れた人材の育成だけでなく、教養科目の時間をできるだけ多くとり、心と技術の調和のとれた、全人的教育を目標とする。</p>	<p>教育理念とは 三心：通いあう心、信じあう心、ひたむきな心 三共：共鳴、共感、共働（協働）の感性 三学：自学、究学、徹学の態度</p> <p>教育方針とは 1. 通いあう心、信じあう心、ひたむきな心 の育成 1. 共鳴、共感、共働（協働）の感性 の育成 1. 自学、究学、徹学の態度 の育成</p>	<p>【長期ビジョン】 社会人基礎力と専門性を有し、社会になくなくてはならない人材を育成し続ける</p> <p>【中期基本方針（2018～2020）】 1. セイコーエプソンと密接に連携して、最新の実務知識、技術、技能を身につけられる実践的な教育を目指す。 2. 生き残りをかけた再編を、確かな実績によって足場固めとし、経営の自立、好転を目指す。</p>
---------------	---	---	--

分担	学校評価・項目	推進項目		到達目標（期待される成果）	実績 および 最終自己評価	
		No.				
共通	④学修成果	1	退学者の削減	目標：昨年実績以下 チャレンジ目標：退学者ゼロ	昨年度に対して、同数であった。退学のきっかけは、授業についていけなくなるが多い。	○
	⑧財務	2	経費削減・ムダの排除	予算目標の達成	収支ともに予算内で目標達成の見込み。	○
	②学校運営	3	「職業実践専門課程」の定着化	各種仕組みの精査、定着化を実施する。	教育課程編成委員会、学校関係者評価委員会の規程・基準も整備完了し、機能し、運用されている。	○
	②学校運営	4	学校評価の向上	前年度評価点以上を目指す。	中間評価では3.5ポイントで昨年と同じであった。	△
	②学校運営⑥教育環境 ⑨法令等の遵守	5	違法対応・安全衛生管理 環境活動の強化	問題を発生させない。	セイコーエプソン監査室による業務監査を受診し、管理レベルの向上が図られた。	○
教務部	③教育活動	1	「5年後10年後に会社になくなくてはならない人材」を目指した育成	追試験件数前年度以下、A評定率前年度以上を達成する。 学科長およびホームルーム担当としての学生の学習状況の把握とフォローアップする。	追試験数は微減、A評定率は昨年と変わらず。 学科内習熟度別学習の継続(ビジネス科)、1科目に講師二人体制(システム、電子機械)の実施により、理解度が低い学生へのフォローが細かくできた。	○
	③教育活動	2	教える力の向上(どうやって身に付けさせるか)	グループワークを取り入れた授業数を昨年以上、実施する。 課題への継続的な取り組みを通じて、目標達成を体験させる。	グループワークを取り入れた授業数は、昨年度から増加させ、2年間通してのチーム作業を経験することができた。	◎
(学務)	⑤学生支援	1	学科、学年を越えて交流し、共に協力し合う人間性の教育と達成感の共有	昨年度以上に効率化する 昨年度以上に周知する	全学生とその保護者に対する一括情報伝達システムを導入し、海外教育旅行の定期的な安否確認をはじめとして、保護者を含めて効果的に情報伝達、共有ができるようになった。 特別研修において学生向けwebページ「各種相談窓口」の周知を行う	◎
	④学修成果	2	学生の資格合格率の向上	校則、寮則などの重大違反を発生させない。 授業以外のイベントにおける遅刻・違反欠席者を低減(1回平均1人以下) 合格率昨年度以上 特進クラスメンバーを中心に挑戦させ、特別表彰(10P以上)を各学科1人以上出す	イベント無断欠席者は現状のまま変わらず。 合格率は若干下がったが、合格数は大幅に増加 特進クラスメンバーを中心に、各学科ともに目標を達成できた。	◎
就職指導部	④学修成果 ⑤学生支援	1	就職内定率の確保とエプソングループをはじめとした専門性を生かせる企業・個人の能力を生かせる企業への就職支援	就職内定率95%以上の確保。 順調な就職活動のため、周囲の状況なども勘案し、臨機応変に可能な限りの施策を講じる。	就職内定率は98%を達成。活動継続中の学生へのサポートも継続中。 セイコーエプソン株式会社への内定は、特進クラスの効果で、今年もさらに増加できた。 校内説明会を昨年以上に実施できた。 校内ガイダンスへの参加は県内外IT系企業が例年以上に参加してくれて、就職内定率の向上に貢献できた。	◎
入試セン	⑦学生の受け入れ状況	1	募集者数の拡大	募集者数の向上 イベント参加者数の向上およびガイダンス参加者数の向上	2月入試まで、ほぼ昨年並み。 高校への説明会や会場ガイダンスへの参加者が昨年より減っている。一方でオープンキャンパス等に参加者数はのべ人数は昨年より増加。	○ △
事務局	⑧財務	1	経費削減・業務の効率化の強化	昨年度以上	人件費、経費ともに、予算を下回り、さらに経費は昨年度実績を下回っている。	○
		2	会計監査への対応	問題を発生させない。	問題なし	○